

はじめに

【親子のコミュニケーション教材・活動の考え方と方向性】

- 親の日本語レベル：日常的な日本語会話は可能だが、子どもの通う幼稚園や学校での会話に自信がない。
- 地域の日本語教室の活動で支援者と親が使う教材
→結果的に、親子のコミュニケーションや理解が進む
- 支援者と親、あるいは親と親の間に置いて、みんなで考えたりおしゃべりしたりするための教材、おしゃべりで気持ちが楽になったり、自己肯定感を高めることができる教材
(言語ポートレート・ケース教材・自慢大会)
- 親子が生活する場（地域社会や学校）の受け入れ側、親の双方が使うことで子どもの成長を共に支えることができる場を作ることを視野に入れた教材。
(子どもの日常や性格、家庭の教育方針を考える、先生に親の気持ちを伝える。)
- 親の気持ちや生きてきた足跡を（いつか）子どもに、日本語で伝えることにつながる教材や活動（自分史を書く活動、子どもへの手紙）
- これからの子育てを共に支えていく支援者が、外国人家族に対して、どのような情報提供が必要なのかを理解すること、そして、個々の外国人家族に対して、ボランティア教室での情報提供活動が進むための、アイデアやモデルとなる教材。
(お弁当・運動会・遠足・お誕生会コラム、子どもの教育とお金について)
- 親が、学校や、自分の子どもの教育に参画することが可能になるようスキヤホールディングできる支援者の存在を視野に入れた教材。

目次

- 0. はじめに (P0)

- 1. 子どもの成長と日本の行事 (P1-18)
 - ①お食い初め ②初節句 ③七五三 ④入園・入学
 - ⑤ 運動会 ⑥遠足 ⑦お誕生会 ⑧卒業式
 - コラム：子どもの成長と反抗期、子どもの成長とお金
- 2. 私の家族の言語生活 (P19-20)
(言語ポートレート)
- 3. ケースから考える いろいろな家族・いろいろな考え方 (P21-41)
 - ① 親の気持ち (子どもに何語で話しますか?)
 - ② 親の気持ち (母国の文化を子どもに伝えますか?)
 - ③ 親の気持ち (PTA 活動に参加しますか?)
 - ④ 親の気持ち (「わたしは日本人」っていうけど)
 - ⑤ 親の気持ち (どうして真面目に勉強しないの?)
 - ⑥ 子どもの気持ち (どうして日本の習慣やマナーを守らないの?)
 - ⑦ 子どもの気持ち (国籍を変えたいんだけど)
 - ⑧ 子どもの気持ち (遊びにきてって言われたのに・・・)
 - ⑨ わたしのケースを書く。
 - 支援者の方へ：ケースの背景と使い方
- 4. 話し方をアップ! (P42-47)
(リフレーミング)
 - ① うちの子 こんな子です!
 - ② 自慢大会をしましょう!
 - ③ 子どもの気持ちを考えてみましょう。
 - ④ リフレーミングしてみましょう。
 - 資料：性格を表すことばリスト
- 5. これまでとこれからを語る (P48-58)
 - ① あなたの人生の重大事件は何ですか? (自分グラフ)
 - ② 子どもの成長記録 (マインドマップを書こう/話してみましょう)
 - ③ 子どもへの手紙
(子どもとの思い出、子どもの様子、子どもに言いたいこと)

1. 子どもの成長と日本の行事

(1) 子どもの成長カレンダー

	日本の行事	あなたの国の行事
0才 	お食い初め 	
1才	はつぜっく 初節句 	
3才 		
5才	しちごさん 七五三 	
6才 7才	にゅうえん にゅうがく 入園・入学 	
8才		

9才	うんどうかい 運動会 	
10才	おたんじょうかい お誕生会 	
12才	えんそく 遠足 	
	そつぎょうしき 卒業式 	

支援者の方へ

子どもの成長と共にある日本語の行事を話題におしゃべりしましょう。行事の歴史や由来ではなく、行事にまつわるみなさんの思い出をしてください。何をするのか（したのか）、何を食べるのか、などについて、イラストをみながら、話しましょう。外国でも同じような行事があるか、聞いてみるのもいいでしょう。お互いに知らないことは、スマホで検索して写真を見ながらおしゃべりするのも楽しいことでしょう。

(2) お^く食^そい初^はめ

こどもが^う生まれてから100日^{にちめ}目^{いわ}のお祝いです。

あか^{あか}ちゃん^{はじ}が初^{はじ}めて^{はじ}食^{はじ}べる^{はじ}もの^{はじ}です。



0E1-0E50 - qL6Xiq

わたしの思い出（お食^くい初^そめ）



お食^くい初^そめ^なって、何^{なに}を^{なに}し^{なに}たら^{なに}いい^{なに}
の^{なに}か^{なに}わ^{なに}から^{なに}な^{なに}く^{なに}て、近^{きん}所^{じょ}の^{とも}友^{とも}だ^{とも}ち^{とも}に^{とも}
聞^きき^きま^きし^きた^き。鯛^{たい}と^{たい}お^{たい}赤^{せき}飯^{はん}と^{はまぐり}蛤^{はまぐり}の^{はまぐり}
お^す吸^すい^す物^すを^す用^{よう}意^いし^{ようい}ま^{ようい}し^{ようい}た^{ようい}、

はな
話^{はな}し^{はな}ま^{はな}し^{はな}よ^{はな}う^{はな}。

あ^あな^あた^あの^あ国^{こくに}で^{こくに}は、生^うま^うれ^うて^う初^{はじ}め^{はじ}て^{はじ}食^たべ^たる^たもの^{なん}は、何^{なん}で^{なん}す^{なん}か^{なん}？

はつぜっく
(3) 初節句

さんがつみっか
3月3日

こがついつか
5月5日

●ひなまつり 3月3日 おんな こ 女の子の成長を祝います。

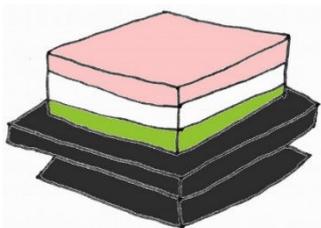
にんぎょう
ひな人形



ひなあられ



すし
ちらし寿司



ひしもち
菱餅

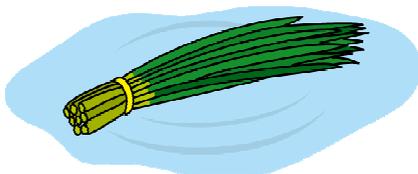
たんご せつく
●端午の節句

ごがついつか おとこ こ
5月5日 男の子の成長を祝います。

かぶと
兜



ゆ はい
しょうぶ湯に入ります。



かしわもち
柏餅



ちまき
粽

はな

話しましょう！

あなたくにの国では、子どもこの成長せいちょうを祝いわうとき、何なにを食たべますか？

しちごさん がつ にち
(4) 七五三 11月15日

さい おんな こ さい おとこ こ さい おんな こ
3才(女の子)、5才(男の子)、7才(女の子)のとき
こ せいちょう いわ じんじゃ い
子どもの成長を祝います。神社に行きます。



千歳あめ



いえ
わたしの家では キモノじゃなくて
ようふく
洋服でした。

はな

話しましょう

あなたくにの国では、子どもこの成長せいちょうを祝いわう特別な年令とくべつ ねんれいがありますか？ 何なにを着きますか？

(5) にゅうえんしき にゅうがくしき
入園式・入学式



ようちえん ほいくえん ひつよう
幼稚園・保育園で必要なものは？
ふく つうえん ちよう は
服、うわばき、通園かばん、おたより帳、コップ、歯ブラシ、ハンカチ、ティッシュ、など

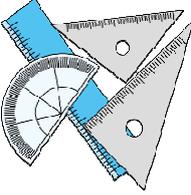
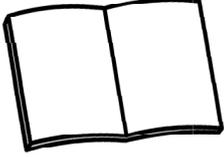
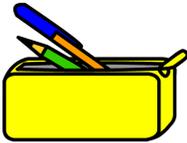


ひつよう
必要なものは？
ランドセル、たいそうぎ 体操着、こうはく 紅白ぼうし、うわばき、ふではこ えんぴつ け 消しゴム、じょうぎ 定規、ノート、
ぼうさい なつ みすぎ すいえいぼう
防災ずきん、(夏：水着、水泳帽) など

ぜんぶ なまえ か
全部に、名前を書くのよ。

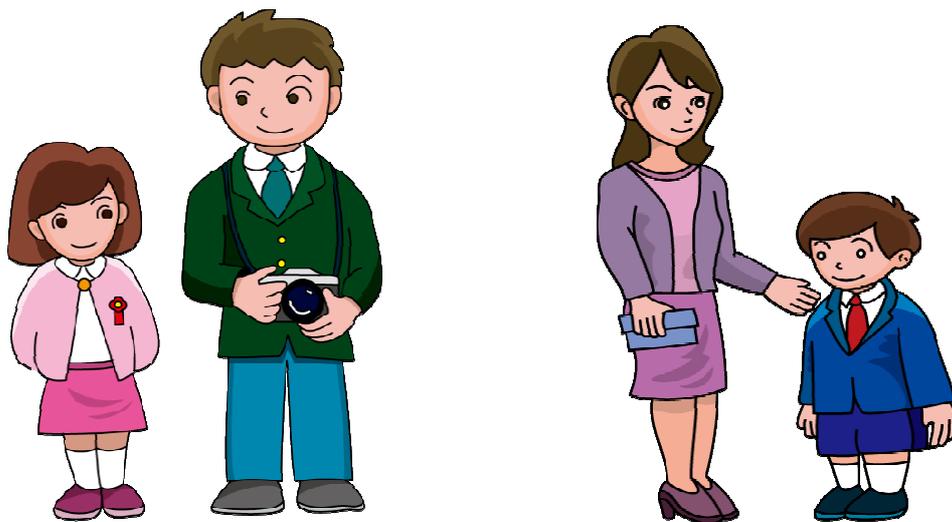
てっだ
パパも手伝ってね！



ランドセル 	たいそうぎ 体操着 	こうはく 紅白ぼうし 	うわばき 
えんぴつ 鉛筆 	け 消しゴム 	じょうぎ 定規 	ノート 
ふでばこ 筆箱 	ぼうさい 防災ずきん 		

※お知らせを読んでから準備しましょう！

● なに き 何を着るのかな？



(6) うんどうかい 運動会 なに 何をするのかな？

たまい
玉入れ



しょうがいぶつきょうそう
障害物競争



つなひ
綱引き



うんどうかい なに
運動会って何するのかしら？ み い
見に行っ
て
もいいの？ うちの子、お菓子を買うから
おかね ほ い
お金が欲しいって言うんだけど、家にある
かし
お菓子じゃいけないの？



べんとう か し ともだち
お弁当のあと、お菓子を友達にもあげたいから、
ちい ぶくろ か し
小さい袋にはいってるかわいいお菓子を
えら
自分で選びたいんだけど・・・

(7) えんそく
遠足

ふくそう
服装は？



×サンダル ×ドレス
(サンダルやドレスは、だめです。)



なに も
何を持っていくの？



リュック



すいとう ちゃ
水筒（お茶）



×ジュース ×コーラ
（ジュースやコーラは、だめです。）

おにぎり



サンドイッチ

かし
お菓子

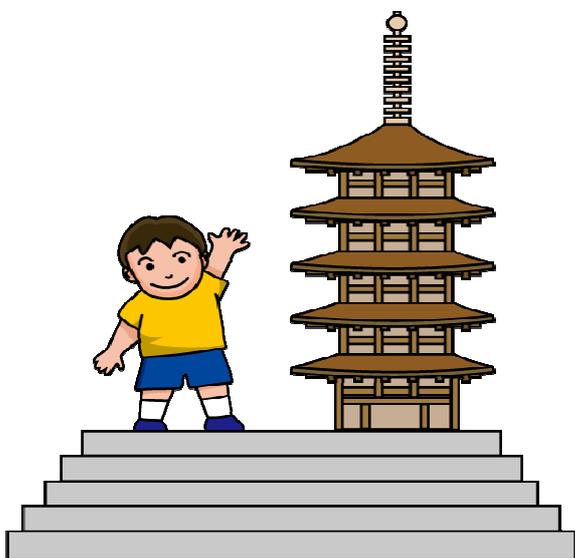


どこへ行くの？

やま
山へ



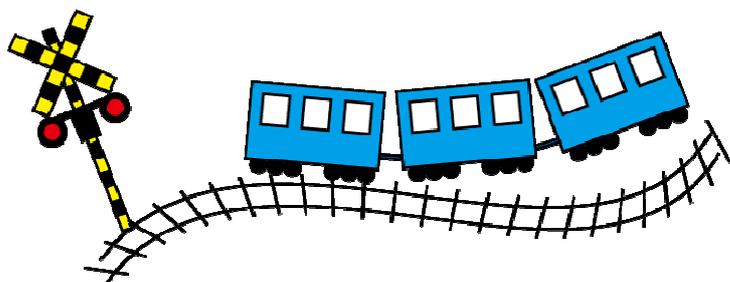
てら
お寺へ



バスで



でんしゃ
電車で



ある
歩いて



(8) おたんじょうかい
お誕生会



とも たんじょうかい よ
友だちの誕生会に呼ばれた
か い
からプレゼントをかうって言
うんだけど、いくらくらい
のもの？

うちは、ハンカチで、
1000円くらい
だったわ。



こ たんじょうかい
うちの子がお誕生会をしたいっていうだけ
とも なんにん よ
ど友だちは 何人くらい呼ぶのかしら？
なに ようい
何を用意したらいいの？

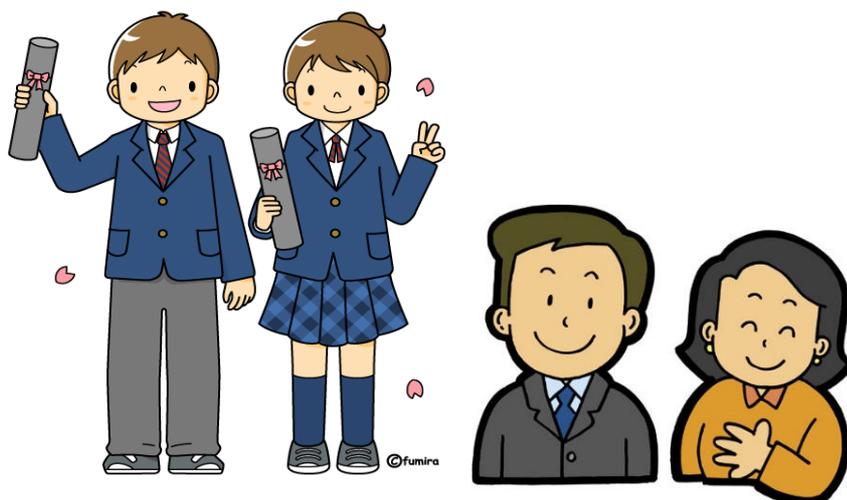
たんじょうかい き とも こども そうだん
お誕生会に来てもらう友だちのリストを子どもと相談
つく
しながら作ったわ。そのリストに、もらったプレゼント
か つぎ おたんじょうかい よ
を書いておくと、いいわよ。次にお誕生会に呼ばれたと
きにそのリストを見て、プレゼントを何にするか考え
み なに かんが
るの。たくさん食べ物を出す家もあるみたいだけど、う
ちには、ケーキとお返しかえのプレゼントだけ用意よういしたわ。



もらったもののリスト

名前	もらったもの
まち	ハンカチ
さゆり	お菓子
まゆ	文房具

(9) そつぎょうしき
卒業式



そつぎょうしき ふくそう

卒業式の服装

すこし ^{ふくそう}きれいな服装をします。 中学の制服でもいいです。
レンタルもあります。 ×ジーンズ (ジーンズはだめです。)

コラム

子どもの成長と反抗期



うちの子、このごろ全然勉強しなくて、文句ば
っかり言ってて、反抗期みたい。中学生になっ
たのに、どうしたらいいの？



そうね。反抗期は、中学生くらいの男の子も女の子
も通る道よ。うちの大学生の娘も中2から高2くら
いまで、文句ばかり言ってたわ。心配しすぎなくて
いいけど、見守ってあげるのは必要よ。



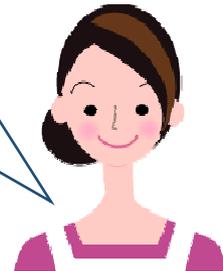
コラム

こ せいちょう おかね 子どもの成長とお金



ちゅうがく そつぎょう こうこう
中学を卒業したら次は高校だけ
かね ひつよう
ど、お金は必要なの？

こうりつこうこう そつぎょう
うん。うちは公立高校だけど、卒業までに30万円くらい
はかかったわよ。にゅうがく せいふくだい きょうかしょだい
入学するときに、制服代とか、教科書代
ひつよう しゅうがくりょこう かね
とか必要だし、あと修学旅行のお金もかかるから。そのほ
かに、いえ こうこう とお ていきだい ひつよう
かに、家から高校が遠いと、定期代も必要よ。



だいがくそつぎょう ひつよう ひよう にゅうがくきん じゅぎょうりよう 大学卒業までに必要な費用（入学金+授業料）

しりつ ぶんけい・ねん	やく	えん
私立（文系/4年）	・・・	約3,900,000円
しりつ りけい ねん	やく	えん
私立（理系/4年）	・・・	約5,200,000円
こくりつ ぶんけい りけい ねん	やく	えん
国立（文系・理系/4年）	・・・	約2,400,000円
しりつたんだい ねん	やく	えん
私立短大（2年）	・・・	約1,800,000円
せんもんがっこう ねん	やく	えん
専門学校（2年）	・・・	約2,000,000円

わたし かぞく げんごせいかつ

2. 私の家族の言語生活

言語ポートレートを書いてみよう！

言語ポートレート：

自らが持つ多様な言語的資源を明示的に捉えるための方法。

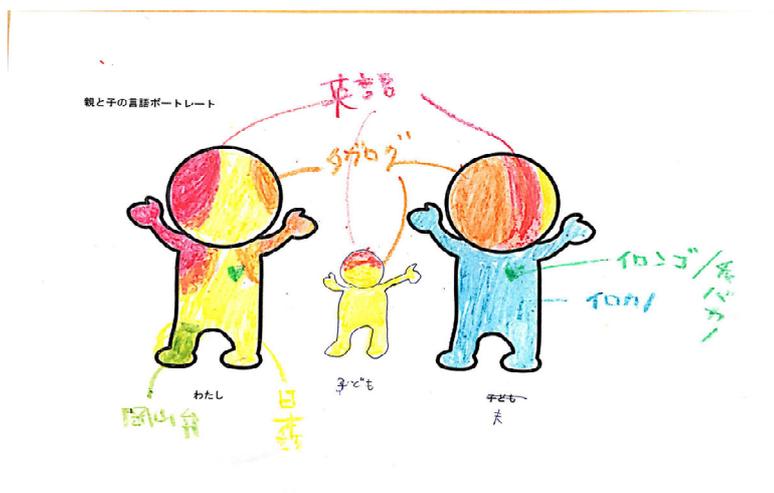
(「日本語を学ぶ/複言語で育つ」くろしお出版(川上・尾関・太田) p39より引用)

言語ポートレートは、本来自分自身について描くものですが、ここでは、複言語環境で子どもを育てる親に、自分と、自分の家族の言語環境を改めて認識してもらうことを試みます。支援者も、ぜひいっしょにしてみてください。学んだ外国語だけでなく、日本語の方言も言語的資源といえます。どんどんかきこんでください。

おや こ げんご

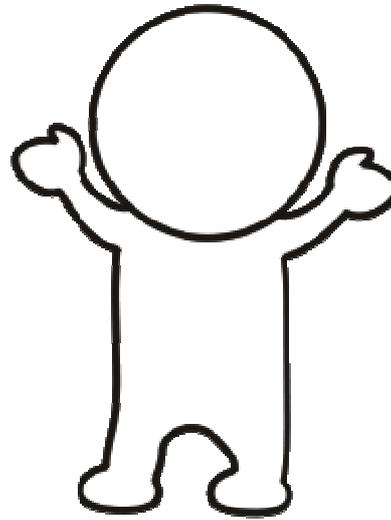
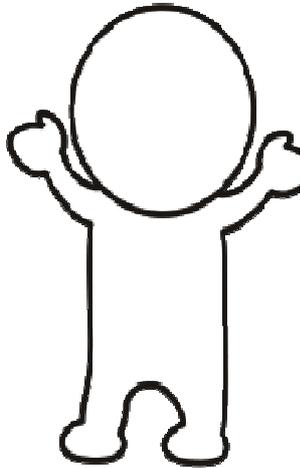
【親と子の言語ポートレートの例】

した れい おっと あいだ こ お
下の例では、「わたし」と「夫」の間に子どもを置いています。
れい じゅう ひとがた つか
この例のように自由に人型を使うようにしてください。



手順

1. あなたの^{なか}中の^{げんご}言語を「人がた」に^{いろわ}色分けしてください。(子どもについても)
2. 余白^{よはく}に説明^{せつめい}を書いてください。
3. あなたと子ども^{ひとがた}の人型^{ひかく}を比較してください。
4. 周り^{まわり}の人^{ひと}と見せ合^{みあ}って自由^{じゆう}に話^{はな}してください。
5. 何^{なに}を感じ^{かん}たか、考^{かんが}えたか^{ぜんたい}を全体^{きょうゆう}で共有^{きょうゆう}します。



3. ケースから考える いろいろな家族・いろいろな考え方

ケース教材:自分が出会いそうな身近なケースを読んで、自分だったらどう考えるか、
どうするかを話し合うことで、多様な立場や考え方を知ることができます。

それぞれのケースには、外国から来た親たちの様々な背景・考え方があります。親の
思い、子どもの思いは、人それぞれです。正しい答えはありません。お互いの経験や思
いを出し合い、話し合うことで、「苦しいのは私ひとりじゃない。子育てはみんな大変
なんだ」「みんなに相談してみよう」「子どもに、今度はこんなふうに接してみよう」
など、新たな、そして前向きな気持ちが生まれるでしょう。

ボランティアも外国から来たお母さんも、いっしょになって、にぎやかにおしゃべり
しましょう！

「わたしは こう思うんだけど・・・」

「えー わたしは こう思うよ！」

「あら、わたしは・・・」



※各ページの使い方は、p39-41 をご覧ください。

・親の気持ち

家庭の言語選択「子どもと何語で話しますか？」

Aさん（38才）

私と主人は中国で結婚しました。15年前に、主人の仕事のために日本に来ました。子どもは、10才と12才で二人とも日本生まれ日本育ちです。主人と私は中国語で話しますし、子どもとも中国語で話してきました。家の中では中国語、子どもたちは幼稚園や学校では日本語を使うことに決めて実行してきました。でも、最近、子どもたちは、家でも日本語を話すことが多くなってきました。兄弟の会話は日本語ですし、私が中国語で話すと、日本語で返事をします。また、友だちが家に来ると、私とも日本語で話します。子どもたちは中国人ですし、母語は中国語なので家族とは中国語で話してほしいと思います。

Bさん（45才）

私はネパール人です。日本人の主人と国際結婚しました。子どもたちは日本生まれ日本育ちです。私は子どもたちにネパール語を強制しませんでした。子どもを完全なバイリンガルにするのは無理だし、二つの言葉で育つことは子どもにとってとても大変なことだと考えたからです。親にとっては、自分の母語で子どもと話せないのはさみしいことですが、子どものためにはしょうがないと思います。

話しましょう

1. Aさん、Bさんそれぞれの思いについて、どう思いますか。
2. 子どもに母語を話してほしいですか、それはどうしてですか。

・親の気持ち 「子どもと何語で話しますか？」

Aさん (38才)

わたし しゅじん ちゅうごく けっこん ねんまえ にほん き こ さい
 私と主人は中国で結婚しました。15年前に、日本に来ました。子どもは、10才と
 さい
 12才です。二人とも日本で生まれました。主人と私は中国語で話します。子どもと
 も
 ちゅうごくご はな こ いえ なか ちゅうごくご ようちえん がっこう にほんご つか
 中国語で話します。子どもたちは、家の中では中国語、幼稚園や学校では日本語を使っ
 ていました。でも今、子どもたちは、家でも日本語を話します。兄弟の会話は日本語で
 いま こ いえ にほんご はな きょうだい かいわ にほんご
 です。私が中国語で話すと、日本語で答えます。また、友だちがいる時、私と日本語で
 わたし ちゅうごくご はな にほんご こた とも とき わたし にほんご
 話します。子どもたちは中国人です。母語は中国語だから家族とは中国語で話してほ
 し
 いです。

Bさん (45才)

わたし じん しゅじん にほんじん こ にほん う わたし こ
 私はネパール人です。主人は日本人です。子どもたちは日本で生まれました。私は子
 こ つか い
 どもたちにネパール語を使いなさいと言いませんでした。子どもをバイリンガルにする
 むり ふたつ ことば そだつ こ たいへん おや
 のは無理だし、二つの言葉で育つことは子どもにとってとても大変だからです。親にと
 じぶん ほご こども はな こ
 っては、自分の母語で子どもと話せないのはさみしいことですが、子どものためですか
 ら。

はな
 話しましょう

1. Aさん、Bさんについて、どう思いますか。
2. あなたは？

・親の気持ち 「母国の文化を子どもに伝えますか？」**Aさん（38才）**

私は中国の出身です。夫とは仕事を通じて出会い、25歳の時に結婚しました。しばらくして長女が生まれ、長女が1歳の時に家族で日本に来ました。日本に来てから次女が生まれ、今は家族4人で暮らしています。現在、長女は中学校1年生、次女が小学校5年生です。来日して12年が経ちました。夫の仕事の都合もあり、私たちは今後も日本で生活をしていく予定です。ですが、夫も私も中国人ですし、子どもたちにも中国人という自覚を持って中国の文化を知ってほしいと思っています。毎年子どもの夏休みに合わせて中国へ帰国し、1か月ほど滞在して中国の文化を体験させています。日本で暮らしている中でも、機会があるごとに中国の文化を伝えています。

Bさん（50才）

私はベトナムの出身です。27年前に留学生として来日しました。大学で日本人の夫と出会い、卒業後に結婚しました。今は社会人の長男、大学生の次男とともに家族4人で暮らしています。日本に来てからベトナムへは3回ほど帰国しましたが、子どもたちを連れて帰ったことはありません。子どもたちは日本生まれ、日本育ちの日本人です。私は日本人の夫と結婚した時から「これから日本で暮らしていくのだから日本を愛し、日本人になれるよう努力しよう」と決めました。ですから子どもたちの方から興味を持たない限り、ベトナムのことは話しませんでした。さみしい気持ちもありましたが、ベトナムの文化を子どもたちに強制してはいけないと思いました。

話しましょう

1. Aさん、Bさんのそれぞれの思いについて、どう思いますか。
2. あなたは「母国の文化」を子どもに伝えたいと思いますか。
それはなぜですか。
3. 子どもに「母国の文化」を伝えるとしたら、どんなことを伝えたいですか。

・親の気持ち「母国の文化を子どもに伝えますか？」

Aさん (38才)

私は中国で生まれました。中国人の夫と結婚し、子どもが1歳の時に家族で日本に来ました。日本に来てからも1人子どもが生まれ、今は家族4人で住んでいます。子どもたちは今、中学校1年生と小学校5年生です。日本に来て12年がたちました。夫の仕事が日本にあるので、私たちはこれからも日本で生活します。ですが夫も私も中国人なので、子どもたちにも自分が中国人だと思ってほしいです。そして中国の文化を知ってほしいと思っています。毎年、子どもたちが夏休みの時に中国に帰り、1か月くらい、いて、中国の文化を教えています。日本にいる時にも、中国の文化を教えるようにしています。

Bさん (50才)

私はベトナムで生まれ、27年前に留学生として日本に来ました。日本人の夫と結婚し、今は社会人の子どもと大学生の子どもと一緒に、家族4人で住んでいます。日本に来てからベトナムへ3回くらい帰りました。でも子どもたちを連れて帰ったことはありません。子どもたちは日本で生まれ、日本で育った日本人です。私は日本人の夫と結婚した時「これから日本に住むから、日本を愛し、日本人になれるように頑張ろう」と決めました。ですから子どもたちにベトナムのことを話しませんでした。さみしい気持ちもありましたが、ベトナムの文化を子どもたちに無理に教えるはいけないと思いました。

話しましょう

1. Aさん、Bさんのそれぞれの気持ちについて、どう思いますか。
2. あなたは「母国の文化」を子どもに教えたいですか。それはなぜですか。
3. 子どもに「母国の文化」を教えるとき、何を教えますか。

ピーティーエーかつどう さん か
・親の気持ち：「P T A活動に参加しますか？」

読む前に…

1. 学校のP T A活動を知っていますか？
2. あなたの国の学校にP T Aはありますか？

Aさん (38才)

私はネパールの出身です。3年前に夫と小学校2年生の子どもと一緒に来日しました。来日した時、日本語がまったく分かりませんでした。ですので、毎週日曜日、地域のボランティア教室に通って日本語の勉強をしました。今では少し日本語が話せるようになり、買い物などで困ることはなくなりました。ですが、学校の先生や子ども達の友達のお母さんと話したりする時は、まだ分からない言葉がたくさんあって大変です。今一番困っていることは、子ども達の小学校のP T Aです。私の子ども達の小学校では、子ども達が卒業するまでの間に必ず1回、P T Aの委員をしなければなりません。私はまだ日本語が不安で、みんなの前で話したりすることは無理ですし、話し合いに参加することも難しいです。外国人はP T Aの委員をやらなくてもいいようお願いしたいです。

話しましょう

1. Aさんの「外国人はP T Aの委員をやらなくてもいいようお願いしたい」という考えをどう思いますか？
2. あなたはP T Aや運動会、学校の行事に参加したいと思いますか？
3. 参加する時、どんなサポートがあったらいいと思いますか。

・親の気持ち：「P T Aに参加しますか？」

よ まえ
読む前に…

1. P T Aを知っていますか？

2. あなたの国の学校にP T Aはありますか？

Aさん (38歳)

私はネパールで生まれました。3年前に夫と小学校2年生の子どもと一緒に日本にきました。その時、日本語がぜんぜん分かりませんでした。だから、ボランティア教室に行って日本語の勉強をしました。今は少し日本語が話せます。買い物は大丈夫です。でも、学校の先生や子どもの友達のお母さんと話す時は、分からない言葉がたくさんあります。大変です。今、困っていることは、子どもの小学校のP T Aです。私の子どもの小学校では、子どもの卒業までに1回、P T Aの委員をしなければなりません。私はまだ日本語が上手じゃありません。みんなの前で話すことはできません。外国人はP T Aの委員をやらなくてもいいようお願いしたいです。

はな
話しましょう

1. Aさんの「外国人はP T Aの委員をやらなくてもいいようお願いしたい」という考えをどう思いますか？

2. あなたはP T Aや運動会、学校の行事に参加したいと思いますか？

3. P T Aに参加する時、どんなサポートがあったらいいと思いますか？

・親の気持ち 「『わたしは日本人』 っていうけど・・・？」

Aさん(40才)

私と主人は中国語圏^{けん}の出身です。20年前に留学のために来日しました。子どもは、10才と12才で二人とも日本生まれ日本育ちです。家の中では中国語で、幼稚園や学校では日本語と決めて実行してきました。でも、小学校に入ってから、子どもたちは、家でも日本語を話すことが多くなってきました。また、友だちが家に来ると、私とも日本語で話します。下の子は外出中に中国語で話しかけると嫌がります^{いや}。「自分は日本人だ」と言いはります。私たちは子供たちに自分がもっている異文化の要素にプライドを持ってほしくて、毎年、故郷へ連れて、向こうの親戚^{しんせき}や環境^{かんきょう}に触れることをこころがけています。中国文化と日本文化を両方愛してほしいと願っています。

話しましょう

1. Aさんの下の子は、外出中に中国語で話かけると嫌がります。なぜ嫌がるのだと思いますか。
2. 「自分は日本人だ」ということについて、どう思いますか。
3. 同じような経験がありますか。どんなことですか。

④親の気持ち 「『わたしは日本人』っていうけど・・・？」

Aさん（40才）

わたし、^{たいわん}台湾から来ました。主人は、^{ほんこん}香港から来ました。私たちは、^{ねんまえ}20年前に日本に留学しました。子どもは、^{じゅうさい}10才と^{じゅうにさい}12才です。ふたりとも日本で生まれて、ずっと日本に住んでいます。だから、^{ようちえん}幼稚園や^{がっこう}学校では^{にほんご}日本語を話します。家では^{ちゅうごくご}中国語で話します。でも、^{しょうがっこう}小学校に入ってから、子どもたちは、家でも^{にほんご}日本語をたくさん話します。友だちが家に来たときは、私とも^{にほんご}日本語で話します。下の子は家の外で私が^{ちゅうごくご}中国語で話すと「ママ日本語で話して！」と言います。また、下の子は、「わたしは日本人！」と私に言います。中国文化和日本文化のふたつを愛してほしい、と私たちは思っています。だから、毎年、^{たいわん}台湾と^{ほんこん}香港に連れて行きます。

はな
話しましょう

1. Aさんの下の子は、家の外では「日本語で話して」と言います。どうして、そう言うのだと思いますか。
2. 下の子が、「わたしは日本人！」と言うことについて、どう思いますか。
3. あなたの子どもは、どうですか。

⑤親の気持ち 「^{まじめ}どうして真面目に勉強しないの？」

Aさん (52才)

私と主人は10年前に中国から仕事のために来日しました。二人とも簡単な日本語なら
 だいじょうぶですが、^{むずか}難しい言葉はあまりできません。^{むすこ}息子は中学校卒業まで中国の親
 に預けていたのですが、^{あす}3年前に日本に呼び寄せて、今は高校2年生です。息子は日本
 語があまりできず、学校の勉強についていけません。また、^{ちこく けつ}遅刻や欠席が多いです。高
 校から注意の電話がくる度、^{たび おやこげんか}親子喧嘩になり、^{いよく なさ いらだ}息子の意欲の無さに苛立ちます。もう大
 き
 くなったのだから自分のことは自分で^{かんり}管理してほしいし、^{しょうらい}将来いい仕事ができるように
 しっかりしてがんばってほしいと諭しても、^{さと}話をきいてくれません。中国で、おじい
 ち
 ん、おばあちゃんに^{あま}甘やかされてきたせいなのか、今は私たちの言うことを^{ぜんぜん}全然きいて
 くれません。

話しましょう

1. Aさんの息子は、どうして遅刻や欠席が多いのだと思いますか。
2. Aさんは、息子にどのように^{せつ}接したらいいと思いますか。
3. 子どもに対して、同じような経験がありますか。どんなことですか。

⑤親の気持ち 「^{まじめ}どうして真面目に勉強しないの？」

Aさん(52才)

わたし しゅじん ねんまえ しごと ちゅうごく にほん き ふたり すこ にほんご
私と主人は10年前に仕事をするために、中国から日本に来ました。二人とも少し日本語
ができますが、^{むずか}難しい言葉はあまり^{わか}分かりません。息子は、^{ちゅうがっこう}中学校卒業まで、^{ちゅうごく}中国の
おじいちゃん、おばあちゃんの家^{いえ}にいました。3年前に日本に息子^{ねんまえ}を呼びました。
息子は、^{いま}今、^{こうこう}高校2年生です。日本語も高校の勉強もできません。^{ちこく}遅刻や^{けつ}欠席が多いで
す。^{こうこう}高校の先生が^{せんせい}注意の電話^{ちゅうい}をくれます。電話の^{でんわ}後は、いつも^{あと}親子喧嘩^{おやこげんか}です。息子が^{むすこ}勉
強する気がないから、私は^{かんり}いらいらします。「もう高校生だから自分のことは自分で管理
してほしい。将来^{しょうらい}いい仕事^{しごと}ができるようにがんばってほしい」と私が^い言っても、^{はなし}話を聞
きません。^{ちゅうごく}中国で、おじいちゃん、おばあちゃんに^{あま}甘やかされてきたせいなのか、今は私
たちの^い言うことを^{ぜんぜん}全然聞きません。

話しましょう

1. Aさんの^{むすこ}息子は、^{ちこく}遅刻や^{けつせき}欠席が多いです。どうしてですか。
2. Aさんは、^{なに}何をしたらいいですか。
3. あなたの子どもは、どうですか。

⑥子どもの気持ち 「どうして日本の習慣やマナーを守らないの？」

Aくん（中学2年生）

ぼくは、今、中学校2年生です。小学校4年の時に日本に来ました。両親は二人とも外国から日本に働きに来ました。両親はぼくより長く日本にいますが、日本の習慣やマナーを無視しています。それで、ぼくは、いやな思いをしてきました。例えば、クリスマスプレゼントをもらえないし、お金がかかるからと部活をやらせてもらえません。それから、先生に指定された時間を守らなかったり、学校で言われたものを用意しなかったりしました。マンションの階段に洗濯物を干したり、ゴミの分別をせずにゴミ出ししたりして、近所から文句を言われたこともあります。親にやめるように言うと「いいのよ、私達は日本人じゃないんだから」と言われます。

話しましょう

1. Aくんは、どんなことがいやでしたか。
2. 日本の習慣やマナーを知るのは、簡単ですか。
3. Aくんから相談されたら、どんなアドバイスをしますか。

⑥ ^{きも}子どもの気持ち 「^{にほん}どうして^{しゅうかん}日本の習慣や^{まも}マナーを守らないの？」

Aくん (^{ちゅうがく}中学^{ねんせい}2年生)

ぼくは、^{いま}今、^{ちゅうがっこう}中学校^{ねんせい}2年生です。^{しょうがっこう}小学校^{ねん}4年の^{とき}時に、^{にほん}日本に^き来ました。^{りょうしん}両親は^{がいこく}外国から^き来ました。^{りょうしん}両親は、^{まへ}ぼくより^{にほん}前に^き日本に^{しゅうかん}来ました^しが、^{にほん}日本の^{しゅうかん}習慣や^{まも}マナーを^{よく}よく^し知りません。それで、^{ぼく}ぼくは、^{とき}とき^{こま}どき^{たと}困ります。例えば、^{ぼく}ぼくは、^{クリスマス}クリスマス^{プレゼント}プレゼントを^{もら}もらえ^{ない}ないし、^{かね}お金が^{かか}かかる^{から}からと^{ぶかつ}部活を^{やら}やらせて^{もら}もらえ^{ませ}ません。それから、^{おや}親は、^{がっこう}学校^いに行く^{とき}時に、^{じかん}時間を守^ららない^{こと}ことがあるし、^{がっこう}学校で^{つか}使う^{もの}もの^{よう}を用^い意^してくれ^{ませ}ん。マ^ンン^シシ^ョン^のの^か階^だん^にに^{せん}洗濯^物物を^ほ干^したり、^{ゴミ}ゴミの^{ルール}ルールも^{まも}守^らない^{から}から、^{ちゅうい}注意^{され}れます。親^にに^いやめ^るる^{よう}ように^いいうと「^{いい}いいのよ、^{わたし}私たちは^{にほんじん}日本人^{じゃ}ない^{んだ}だから」と^いいわれ^ます。

話しましょう

1. Aくんは、^{なに}何が、いやですか。
2. ^{にほん}日本の^{しゅうかん}習慣や^{まも}マナーは、^{かんたん}簡単ですか。
3. Aくんに、^{どんな}どんな^{アドバイス}アドバイスを^ししますか。

⑦子どもの気持ち 「国籍を変えたいんだけど」

Aくん（専門学校生、20才）

僕は日本で生まれた中国人です。今、専門学校の学生です。今までに何回かしか中国に行ったことがありません。両親は日本語が話せません。家族に関することは、全て僕がしなくてははいけません。家族や親戚が病院に行く時は、学校を休んで一緒について行ったりしました。親とは意見が合わない事がたびたびあります。今、僕はバイトをしていますが、親はバイト代を全て家に入れろと言います。中国ではそれが当たり前だと言っています。専門学校に入ると決めた時も反対されました。正直僕にとって、中国は外国です。今、僕は国籍を変えたいと思っていますが、両親が許してくれません。

話しましょう

1. Aくんは、家族のために、いろいろ手伝ってきました。また、アルバイトのお金も親に渡します。あなたの家ではどうですか。
2. Aくんは、どうして国籍を変えたいのだと思いますか。
3. Aくんは、どうしたらいいと思いますか。

⑦ 子どもの気持ち 「国籍を変えたいんだけど」

Aくん (専門学校生、20才)

僕は、中国人です。日本で、生まれました。今、専門学校の学生です。中国には、6回くらい行っただけです。両親は日本語が話せません。家族のことは、全部、僕がしなければなりません。家族や親戚が病院に行く時は、学校を休んで一緒について行きます。親と僕は、意見が合わないことが、よくあります。今、僕はバイトをしています。親は「バイト代は全部、家に入れろ」と言います。中国ではそれが当たり前だと言っています。専門学校に入る時も反対しました。僕には、中国は外国です。今、僕は国籍を変えたいと思っていますが、両親が許しません。

話しましょう

1. Aくんは、家族を手伝います。また、アルバイトのお金は、親にあげます。あなたの家ではどうですか。
2. Aくんは、どうして国籍を変えたいのでしょうか。
3. Aくんは、どうしたらいいと思いますか。

⑧子どもの気持ち 「遊びにきてって言われたのに…」

Mさん(22才)

私はフィリピンのマニラで生まれました。お母さんは私が3才の時に日本で仕事を見つけ、日本へ移りました。私はフィリピンで、おじいちゃんとおばあちゃんと暮らしていました。お母さんとは年に2, 3回、お母さんがフィリピンに帰国した際会っていました。私が10才の時、日本にいるお母さんから電話がありました。「日本に遊びに来て」と誘われ、旅行気分で来日しました。いざ日本に着いてみると、お母さんから「これからは日本に住むよ」と言われました。「遊びにきて」というのは、ウソだったんです。それから私は、お母さんと、新しい日本人のお父さんと3人で、日本に暮らすことになりました。今になって考えれば、仕事や経済的な面から、あの時日本に来たことは悪いことではなかったと思います。でも当時の私は、フィリピンの友だちや、一緒に暮らしていたおじいちゃん、おばあちゃんにお別れの挨拶もできなかつた、とてもさみしい思いをしました。

話しましょう

1. ミーナさんのお母さんは、なぜウソをついたのでしょうか。
2. あなたは子どもに、日本に来ることを、どう説明しましたか。
3. 子どもと来日した（子どもを呼び寄せた）ことで、心配したこと、うれしかったことは何ですか。

⑧ 子どもの気持ち 「遊びにきてって言われたのに…」

Mさん(22才)

わたしはフィリピンのマニラで生まれました。お母さんは、日本で仕事をしていました。私はフィリピンで、おじいちゃんとおばあちゃんと暮らしていました。私が10才の時、お母さんから電話がありました。「日本に遊びにきて！」と言われました。日本に行くと、お母さんから「これからは日本に住むよ」と言われました。「遊びにきて」はウソだったんです。私はお母さんと、日本人のお父さんと3人で暮らすことになりました。仕事のこと、将来のことを考えると、日本に来たことは悪いことじゃありません。でもフィリピンの友達、おじいちゃん、おばあちゃんに「バイバイ」も言えなかった。とてもさみしかったです。

はな
話しましょう

1. ミーナさんのお母さんは、なぜウソをついたのでしょうか。
2. あなたは子どもに、日本に来ることを、どう説明しましたか
3. 子どもと来日した（子どもを呼び寄せた）ことで、心配したこと、うれしかったことは何ですか。

⑨ 「わたしのケース」

1. ケース①～⑧の中で、一番印象的だったものを選んでください。

・親の思い

- ① 「子どもと何語で話しますか」
- ② 「母国の文化を子どもに伝えますか？」
 - ・ 「PTAに参加しますか？」
 - ・ 「『わたしは日本人』って言うけど・・・？」
 - ・ 「どうして真面目に勉強しないの？」

・子どもの思い

- ・ 「どうして日本の習慣やルールを守らないの？」
- ⑦ 「国籍を変えたいんだけど」
- ⑧ 「遊びにきてって言われたのに…」

2. 選んだケースは、なぜ印象的でしたか？
(選んだケースをもう一度読んでみましょう。)

3. 「わたしのケース」を書いてみましょう。

タイトル「

」

- ・ わたしの出身は(国、地域)
- ・ 来日したのは(〇年前、だれと、なぜ?)
- ・ 子どもは (〇人、〇才、小・中・高校生)

支援者の方へ ケースの背景と使い方

普通版★★★は日本語中級レベル、簡単版★★は初級終了レベルを想定しています。①～⑨まで順番に、全て終わらせる必要はありません。学習者に合わせて選んでください。

普通版も簡単版も、ケースの内容を理解しているかどうかをやりとりしながら内容を十分確認してから「話しましょう」に進んでください。

ここでのワークは、様々な立場、意見を知り、思いを共有することで、「苦しいのは私だけじゃない。」「なるほど、そういう考え方もあるんだ。」などと、気持ちが楽になったり、視野が広がったりしたことで、前向きな気持ちを持つことができるでしょう。「良い」「悪い」と決めたり、一つの答えを求めたりすることが目的ではありません。

ケース①親の思い：「子どもと何語で話しますか」

両親の母語が異なる場合、また、両親の母語が同じでも、日本で子育てをする際に、子どもを何語で育てるのか、子どもと何語で話すのか、といった問題は家族にとってとても大きな問題です。家庭で方針を決めても、子どもの気持ちや状況により、両親の思いも大きく揺れ動きます。答えが出ない問題ですが、自分の思いを口にすることで、また、人の思いを聞くことで、少しおおらかな気持ちになれることもあるでしょう。難しい問題だからこそ、それぞれの思いや経験を、支援者もいっしょになって話せるといいでしょう。

ケース・親の思い：「母国の文化を子どもに伝えますか？」

このケースでは、母国の文化の継承について考えます。母国の文化を積極的に伝えていくAさんと自分からは話さないBさん、反対の立場をとる2人の親の思いを読んで理解します。Aさん、Bさんのどちらかが正しいという正解はありません。Aさん、Bさん以外の考え方もあるでしょう。ぜひ「話しましょう」で学習者の方、それぞれの思いに耳を傾けてください。

ケース・親の思い：「PTAに参加しますか？」

子どもの学校のPTA活動についての話題です。PTAとは何か、どんな活動をするのかを確認してから読んでください。PTA活動については、外国人だけでなく、日本人の間でもさまざまな考え方があるでしょう。「話しま

しょう」で、ぜひ支援者の方もご自分の体験を交えながら一緒に意見を交換してください。

ケース・親の思い：「『わたしは日本人』って言うけど・・・？」

親の言語・文化、いま自分が生きる社会の言語・文化、という二つの言語・文化の間を行き来しつつ、幼いながらも自分のアイデンティティについて考えている子どもの姿が、このケースから見えます。こうしたとき、親は、子どもに対して、どのように接したらいいのかは、難しい問題です。複言語環境で育つ子どもを、その場その場で親がゆったりとした気持ちで受け止めることができるよう、こういった子どもの言動はアイデンティティ形成のプロセスであるということを、親たちに寄り添いながら共有していく場を作ることができるといいでしょう。

ケース・親の思い：「どうして真面目に勉強しないの？」

幼少のころから祖父母に育てられ、中学卒業を機に親に呼び寄せられる子どもが最近増えてきています。こういったケースの場合、お互いに愛情はあっても子どもが親になじめずに、反抗したりすることがあります。親子ともに、コミュニケーションが成り立たないことに苛立っている状態です。母国での生活を突然中断させられて日本の高校に入った子どもたちの気持ちは複雑ですし、日本の高校生活や勉強は親が想像する以上に大変です。親は子の気持ちを、子は親の気持ちを知ること、子どもは自分の将来を思い描くことが初めて可能になるのかもしれませんが。支援者は、こういった背景を頭に入れて、子どもの気持ちやがんばりに対して思いやりと評価の気持ちを親が持てるよう、話し合いの中でサポートできるといいでしょう。

ケース・子どもの思い：「どうして日本の習慣やルールを守らないの？」

親は母国の言語・文化・習慣を元に日本で生活をしていても、日本社会で育つ子どもは日本の言語・文化・習慣のほうが次第に強くなっていきます。そして、親の母語・文化・習慣を、ひいては親を、子どもが嫌ったり、頼れない存在だと思ってしまうケースがあります。また、日本の学校のことを、親がよく分からない場合、親に対して信頼感が持てなくなり、親に進路の相談をせずに決めてしまったりと、親子の衝突が頻繁になると、子どもの気持ちも落ち着かず、将来の展望も持てなくなります。二つの言語・文化・習慣を行き来する子どもの状況と気持ちを、親が理解できるよう、このケースをもとに、いろいろなことを話しあえるといいでしょう。親にも「日本の習慣を分かりたいし、知りたいけど、難しいから諦めた」などの事情があることでしょう。

ケース⑦子どもの思い「国籍を変えたいんだけど」

家族と子どもの関係は、国の事情や個人の考え方によって多様です。外国から来た家庭の場合、親が受けてきた家庭教育と日本の家庭教育に大きな違いがあることが多いでしょう。日本で育つ子どもは、友だちの家と自分の家の違いに、成長と共に気づくようになり、不満を持つことも少なからずあります。また、日本しか知らない子どもは、日本で生きていくことを選択し、Aくんのように、「国籍を日本に変えたい」と言うかもしれません。このケースを読み、子どもの気持ちを想像したり、子どもから「国籍を変えたい」と言われたら、自分ならどうするかを、支援者も自分のこととして、いっしょに考えてみるといいでしょう。

ケース⑧子どもの思い 「遊びにきてって言われたのに…」

子どもと一緒に来日した方、子どもを後から日本へ呼び寄せた方に向けたケースです。「来日」は大人にとっても子どもにとっても、ライフコースの中の大きな出来事と言えます。多くの大人は、仕事や留学などの理由で来日しますが、それに対して子どもは親についてきた（呼び寄せられた）という側面から、来日に意味を見出すことは大人以上に難しい場合もあります。このケースの目的は、親が自身の来日時のことを、子どもとのことも含めて思い出すこと、そしてミーナさんのケースを通し子どもにとっての「来日」を考えてみることです。学習者の方の場合はどうであったか、その背景にはどのような考えや事情があったのか、話し合いながら進めるといいでしょう。

ケース⑨ 「わたしのケース」

まず、ケース①～③の中から印象的だったケースを選び、どんなケースだったかを振り返りましょう。印象的だったケースをもう一度「いつ」「だれが」「どこで」「何をして」「何を感じたのか」を考えながら読んでみます。次に、自分自身のケースについて書いてみましょう。「なにを」「なぜ」「そう思うのか（感じるのか）」が書けるといいですが、なかなか難しいことです。学習者が話したことにボランティアの方が質問したりして、やりとりしながら、そのやりとりを書き取り、学習者にそれを確認してもらうのも良いでしょう。複数の学習者がいる時は、グループでお互いのケースを読み、話し合うこともできます。

「わたしのケース」を書くことは、過去の自分に向き合うことですから、やりたくない人もいるでしょう。ですから、「ぜひ、やりたい！」という人といっしょにするようにしてください。

4. 話し方をアップ!

・うちの子、こんな子です!

◎がっこうのせんせいに、こどものせいかくをどう説明せつめいしますか?



◎どのタイプちがに近いちがですか?



	<small>こ</small> どもの <small>せいかく</small> 性格	そう思う理由 <small>おも</small> <small>りゆう</small>
1		
2		
3		

⇒☆資料：性格を表すことばリスト(p46-47)も、参考にしてください。

・自慢大会をしましょう！

「リフレーミング」の手法を参考にした活動。

リ・フレーミングによって、心の習慣・考え方の枠組みを取り替えること、プラス思考、自己肯定感を高めることができる。

〔活動1：お互いをほめ合ってみよう！〕

手順

1. ペアを作る。
2. A：自分についてたくさん話す。
B：質問しながらメモする。
3. B：メモをもとにAをほめる。
(否定的なことばを肯定的なことばに変えて褒めちぎる。)
4. A, Bの役割を取り替えてもう一度2-3をする。
5. グループで感想を話す。

〔活動2： 自分の子どもを^{じまん}自慢しよう！〕

手順

1. ペアを作る。
2. A：自分の子どもについて話す（肯定的な表現でなくてもいい）。
B：否定的な表現が出てきたら、肯定的な言い方に変えて
「〇〇ですね」と言い換える。
3. A, Bの役割を取り替えてもう一度2-3をする。
4. グループで感想を話す。

・ 子どもの気持ちを考えてみましょう

■子どもが親に言われて うれしい言葉、いやな言葉をわけてみましょう。

- ・ すごいね
- ・ バカじゃないの
- ・ お兄ちゃん／お姉ちゃんでしょ
- ・ まだやってないの
- ・ ダメって言うてるでしょ
- ・ いい子ね
- ・ はやくできたね
- ・ 勉強しなさい
- ・ やさしいね

- ・ よく考えて
- ・ えらいね
- ・ 早くしなさい
- ・ なんでわからないの
- ・ よくできたね
- ・ うるさい
- ・ がんばってね
- ・ うそでしょ
- ・ 大丈夫だよ
- ・ そんなことはいいから



いや!



うれしい!

よく言う言葉は何？

・リフレーミングしてみましょう。

子どもが親に言われて「いやな言葉」を「うれしい言葉」に変えてみましょう！

- ・まず、前のページのいやな言葉を、下にご書いてください。そして「うれしい言葉」に言い換えてみましょう。
- ・次に、ほかにも「いやな言葉」をみんなで考えてみましょう。それも「うれしい言葉」に言い換えてみましょう。

例 まだできないの→〇分までにやろうね

 いやな言葉	 うれしい言葉
	

支援者の方へ

日本人母語話者でも、この言い換えはとても難しいです。だからこそ、学習者といっしょにやってみると楽しいでしょう。日本語が母語でない人たちは、「うれしい言葉」「いやな言葉」のニュアンスを、反対に捉えているかもしれません（日本人同志でもありそうなことです）から、グループで、ワイワイ言葉を出し合って、「うれしい」「いや」に分けたり、言い換えたりしているうちに、語感が自然に身についていくのではないかと思います。日本人もがウ国から来た人も、家族との円滑なコミュニケーションのために、有効なワークです。

☆資料：性格を表すことばリスト

	短所 たんじょ	母語訳 ぼごやく	リフレーミングすると
	おっとりした		マイペース (な)
	おとなしい		話をよく聞く はなしをよくきく
	のんびりした		マイペース (な)
	気が強い きがつよい		自分に自信がある じぶんじしんがある
	頑固な がんこ		意志が強い いしがつよい
	わがまま (な)		自分の意見を持っている じぶんいけんもっている
	負けず嫌い (な) まけずきら		向上心がある こうじょうしんがある
	プライドが高い たか		自分に自信がある じぶんじしんがある
	頼りない たよ		協調性がある きょうちょうせいがある
	だらしない		こだわらない おおらか (な)
	忘れっぽい わす		おおらか (な)
	内向的 (な) ないこうてき		自分と向き合える じぶんむきあえる
	消極的 (な) しょうきよくてき		でしゃばらない 周りの人を大切にする まわりひとたいせつにする
	弱々しい よわよわ		やさしい
	優柔不断 (な) ゆうじゅうふたん		じっくり考える かんが

	お 落 ^お ち着 ^ち きがない		こ う き し ん つ よ 好 ^こ 奇 ^う 心 ^{しん} が ^つ 強 ^よ い
	い い か げ ん (な)		こ だ わ ら な い お お ら か (な)
	あ 飽 ^あ きっ ぽ い		き よ う み ひろ 興 ^き 味 ^{よう} が ^み 広 ^{ひろ} い
その他	くら 暗 ^{くら} い		じ ぶ ん せ か い たい せ つ 自 ^じ 分 ^ぶ の ^ん 世 ^せ 界 ^{かい} を ^{たい} 大 ^せ 切 ^つ に ^{する}
	あ ま 甘 ^あ えん 坊 ^ま (な)		ひと 人 ^{ひと} に ^か わ ^い が ^ら れ ^る
	き ま じ め (な)		じ み ち ど り よ く 地 ^じ 道 ^{みち} な ^ど 努 ^り 力 ^よ が ^く で ^き る

※母語訳は、必要なものだけ書き込んでください。

表にないことばがあったら、リストの最後に書き込んでみましょう。

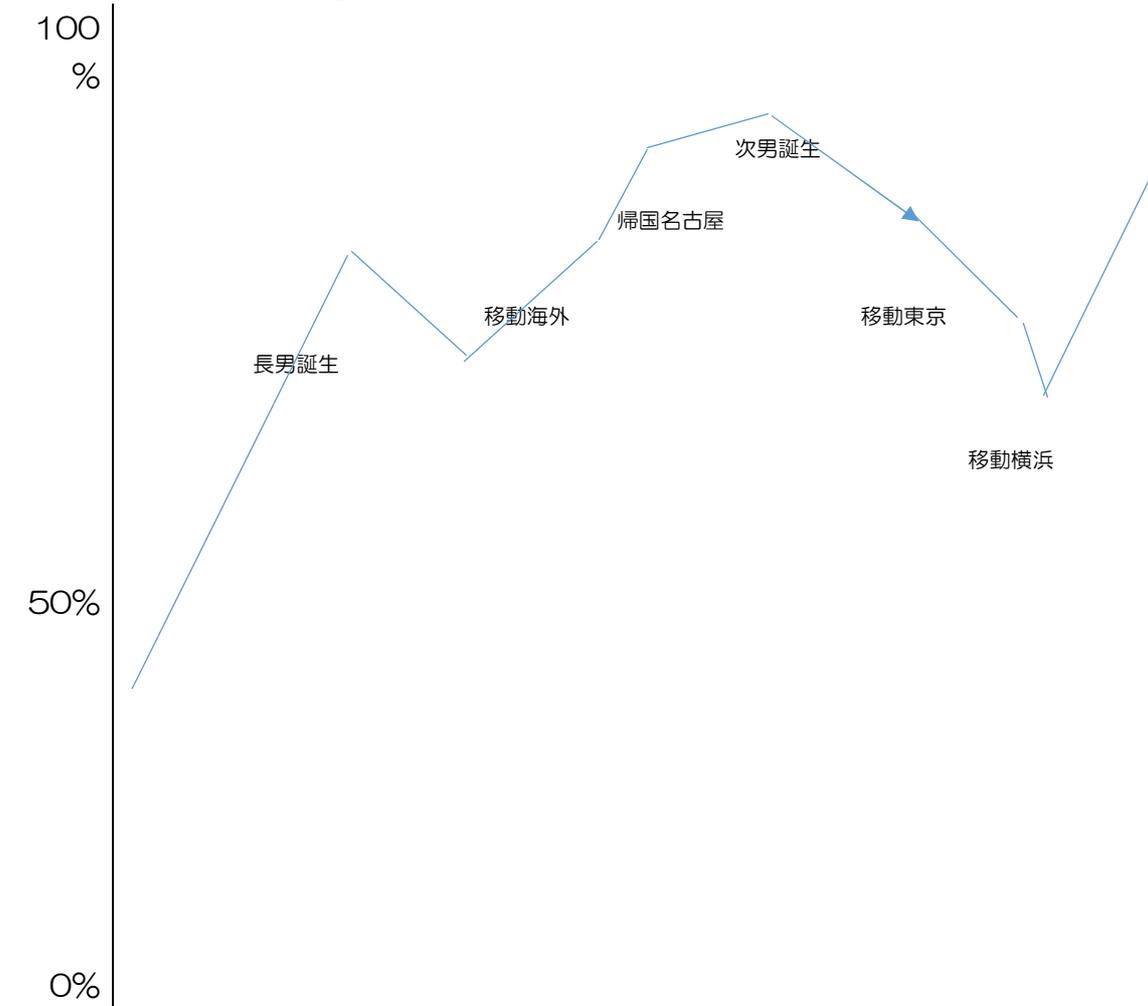
5. これまでとこれからを語る

自分史から子どもに伝えたいことへ

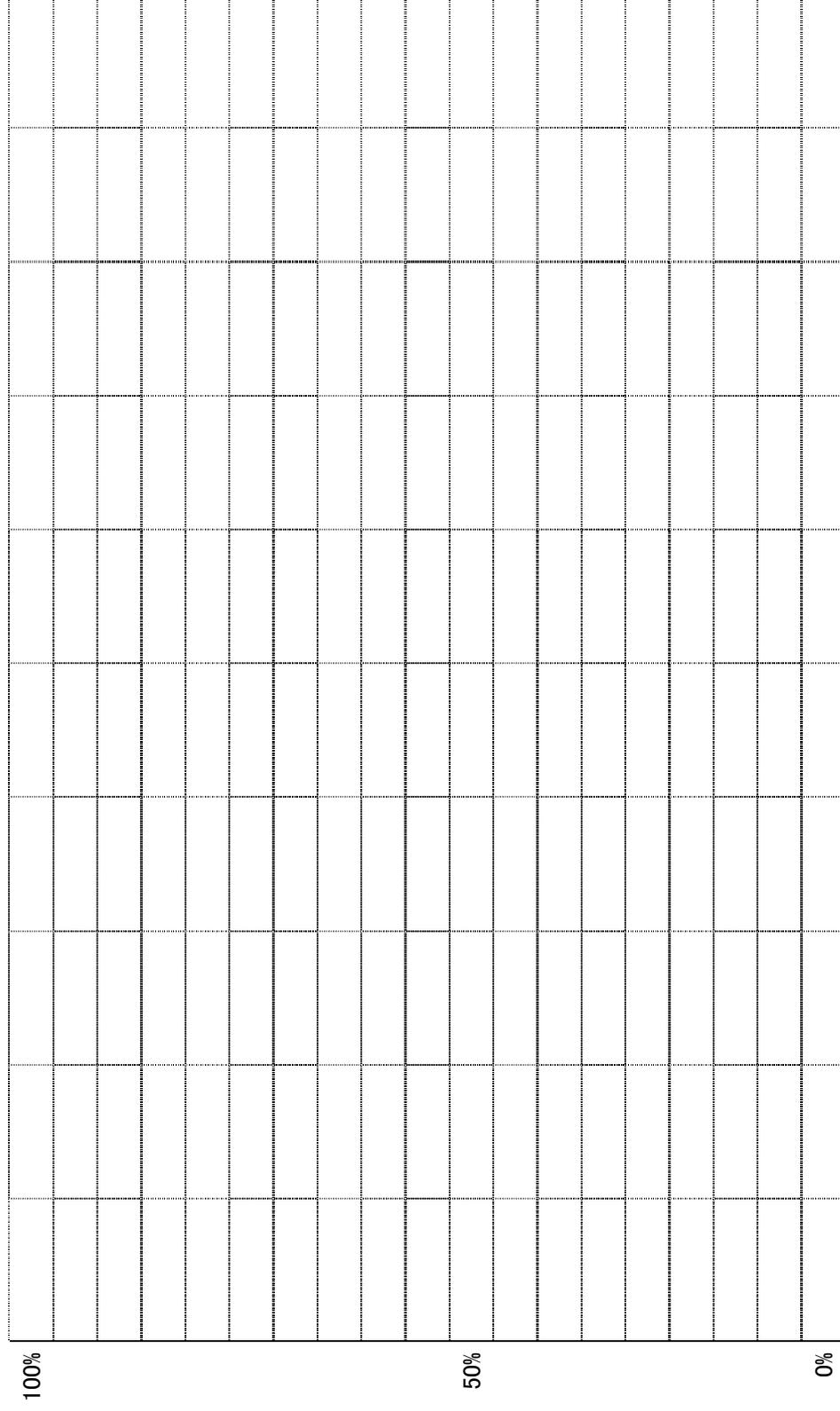
(1) あなたの人生の大事は何ですか？

あなたの日本への移動・日本での生活について話したり書いたりしてみましょう！

- 手順**
1. 自分グラフを書きます。
 2. 1. の中で、とくに子どもに伝えたい「とき」「思い」を考えます。
 3. 2. について、お互いに話します。
 4. 書いてみます。



自分グラフサンプル



こころぐくど
幸福度

じぶん
自分グラフ

(2) 子どもの成長記録

ーマインドマップを書こうー

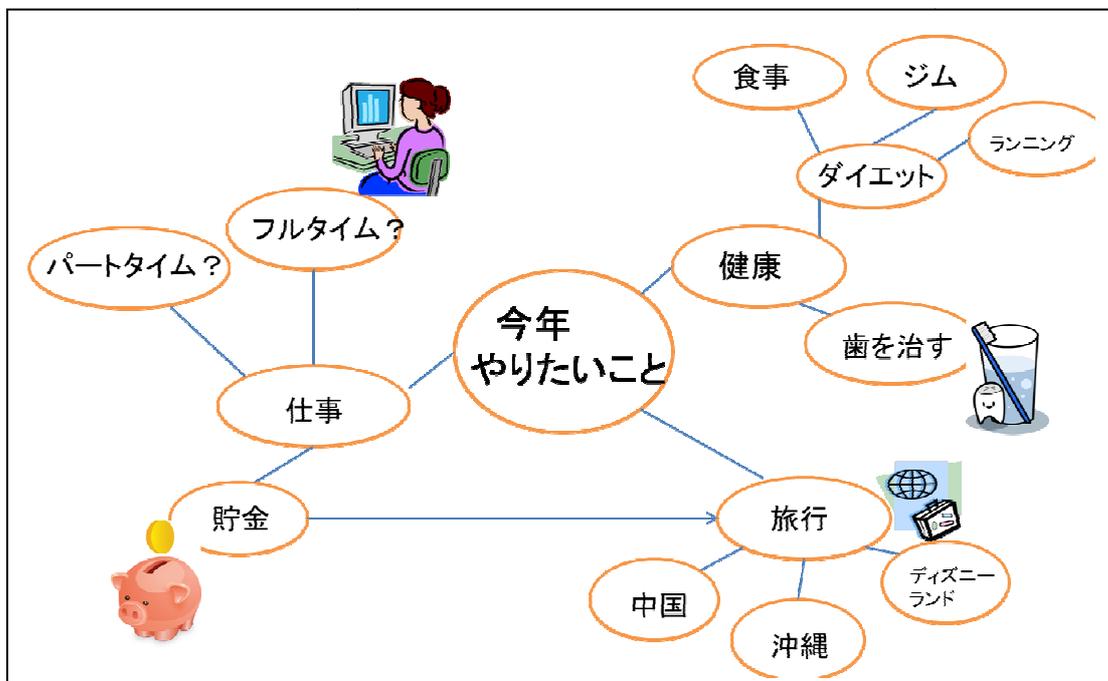
マインドマップとは：

自分の考えをマップで整理する表現方法です。1枚の紙の中心に表現したいテーマを書

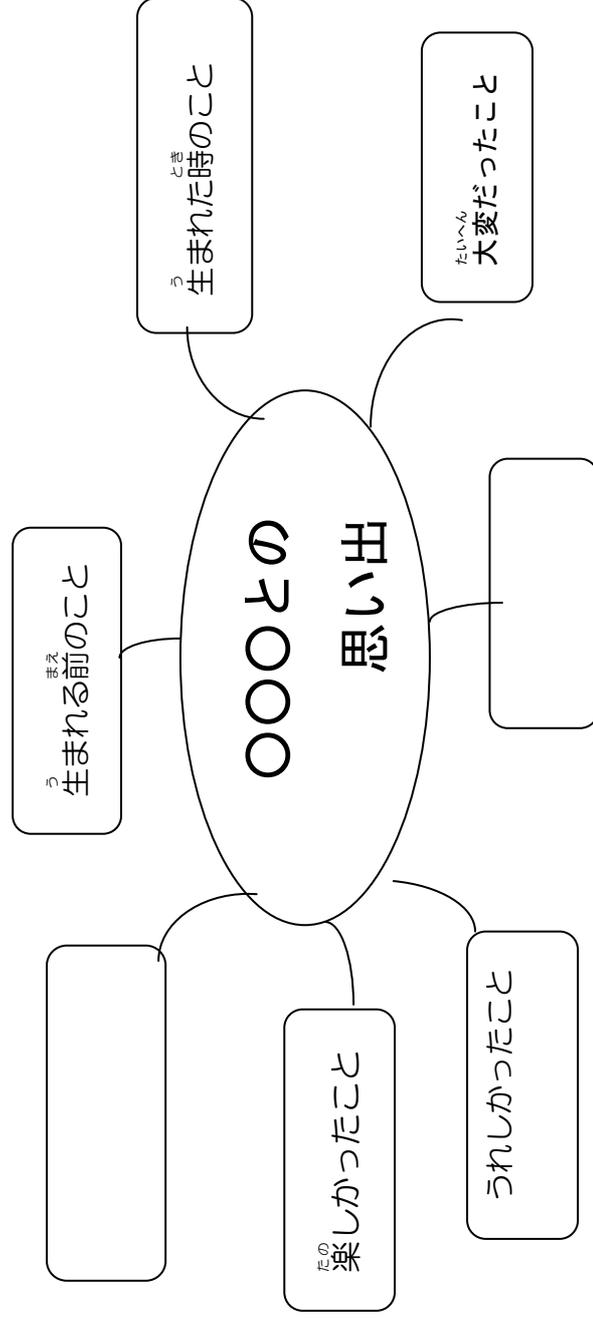
き、そこから連想する言葉をつなげていきます。

(言葉ではなく、絵でもいいです)

マインドマップの例



こどもとの思い出をマインドマップで書いてみましょう。



キーワード：赤ちゃんの時	あか とき	小さい時	ちい とき	小学生の時	しょうがっこう とき	中学生の時	ちゅうがっこう とき	一緒に遊びに行ったこと	いっしょ あそ い	困ったこと	こま	病気・けが	びょうき
--------------	----------	------	----------	-------	---------------	-------	---------------	-------------	-----------------	-------	----	-------	------

—話してみましよう—



① こ子どもとのおも思い出で、いちばん一番覚えていることは？

いちばん私が一番覚えていることは、

いつ

どこで

だれ誰と

なに何をした

ことです。

② ^こ子どもの^{せいちょう}成長を^{いちばんかん}一番感じたのは、^{とき}どんな時ですか？



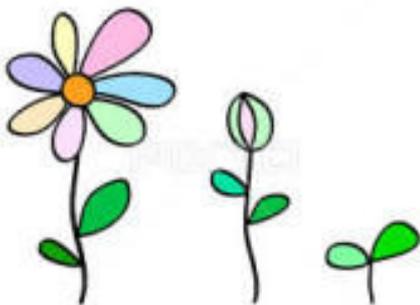
pixta - 0018741

^{わたし}私^こが^{せいちょう}子どもの^{かん}成長を感じたのは、^こ子どもが

いつ

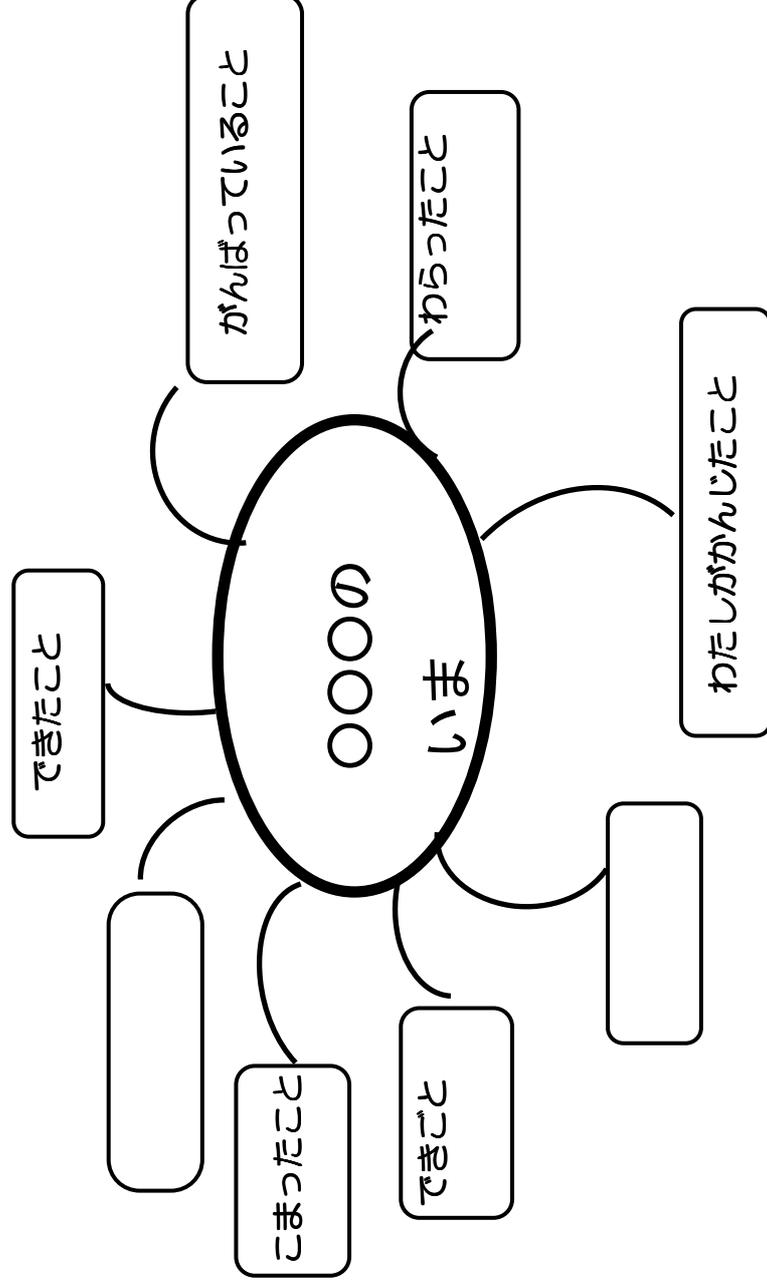
^{なに}何を^{した}した

^{とき}時です。



pixta - 2143019

子どものいまをマインドマップで書いてみましょう。



には、自分が書きたいことを入れて書きましょう。キーワードから言葉をえらんでマップを書いてください。

キーワード：なやんでいること、ないたこと、けんかしたこと、あやまりたいこと、あやまりたいこと、こうかいしたこと、きたいしていること、おうえんしていること

話してみよう

① あなたの子どもは、どんなところが一番輝いちばんかがやいていますか。

いちばんかがや
一番輝いちばんかがやいているところは、

いつ

どこで

だれ
誰と（だれに）

なに
何をする

ところです。

●ひとつの文ぶんにしてみましょう。

〇〇〇いちばんかがやが一番輝いちばんかがやいているところは、

_____ ところです。

① と同じように「いつ」「どこで」「だれと（だれに）」「なにをする」か
を考えて②と③を書いてみましょう。

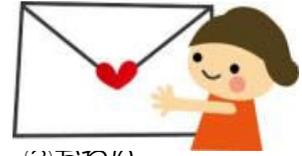
② 子どもに伝えたいことがありますか。

③ 子どもに言いたくてまだ言えてないことがありますか。



(3) 子どもへの手紙

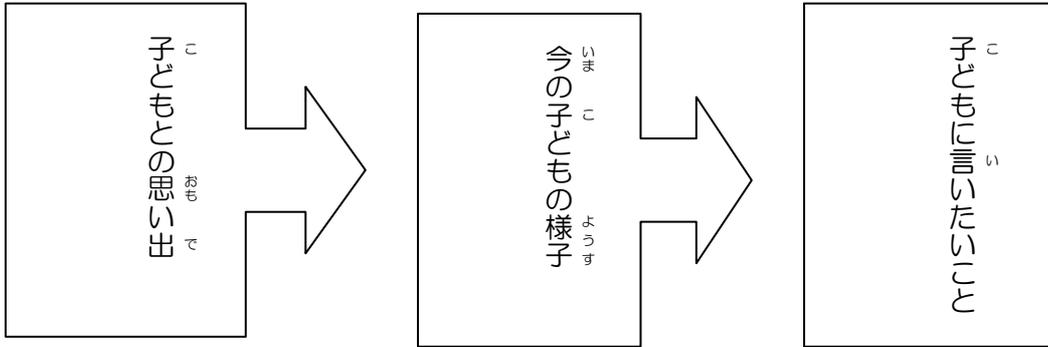
子どもへ伝えたいことを手紙に書きましょう。



①はじめ

②なか

③おわり



① 子どもの思い出

子どもが生まれた時のこと、小さい時の様子、いっしょに過ごした思い出を書きましょう。

A large, empty rounded rectangle intended for the child to write their memories.

② 今の子ども様子 子どものいいところ、頑張っていることなどを書きましょう。

A large, empty rounded rectangle intended for the child to write about their child's current condition and strengths.

